

次への一步 パースでの奮闘記録

オール鹿児島高校選抜チーム副キャプテン  
**日高 勝太 選手**  
(鹿児島工業高校3年生)

**Q:** 29日の交流試合では最後にトライを決めましたね。相手チームの印象は?

**A:** 個人、個人が強かったです。

**Q:** では、オール鹿児島の特徴は?

**A:** フォワードが強いことですね。

**Q:** 自分のプレーの特徴は?

**A:** 自分のポジションはセンターで、パワーとパススキル、スピードが要求されます。その中でもパワーが大切だと思っています。そのパワーはいつも

気に掛け、プレーするようにしています。

**Q:** ラグビーをされていて、一番良かったと思う時は?

**A:** 試合に勝った時です。

**Q:** 自分がトライを決めた時ではなくて?

**A:** いや、違います。自分がトライを決めなくても、チームが勝つことが一番大事なことです。フォワードは点を取りに行くことがなかなか難しいけど、フォワードがいないと点は取れませんから。

**Q:** 自分の高校に戻った時の目標は?

**A:** 花園に出ることです。

**Q:** 自分の高校ではキャプテン、そして県の代

表選手。次は九州選抜ですか?

**A:** 九州はレベルが高いので、なかなか難しいですが、頑張りたいですね。

**Q:** では、その次は?

**A:** 大学生、社会人でもラグビーを続けていきたいと思っています。

**Q:** オールジャパンは?

**A:** 今は考えられませんね。まずは、国体に出場して、そして花園に出場したいです。



オール鹿児島高校選抜チーム  
**井上 哲太 選手**  
(鹿児島実業高校3年生)

**Q:** 交流試合を通して、オーストラリアの選手の印象は?

**A:** トップスピードに入るのが早かったです。

**Q:** ナンバー8として、自分のプレーの特徴は?

**A:** スクラムをまとめるのが自分の仕事なので、そこを注意してプレーしています。

**Q:** 今後の目標は?

**A:** 中学まで野球をしていましたが、高校からラグビーを始めました。ラグビーを選

んで良かったと思っています。今回パースに来て、得た経験を国体や花園出場に活かしていこうと思います。



オール鹿児島高校選抜チーム  
**山下 宏洋 選手**  
(甲南高校2年生)

**Q:** 1年生で県選抜に選ばれた感想は? (パース遠征の時はまだ1年生)

**A:** 本当に嬉しかったです。

**Q:** ラグビーはいつから始めましたか?

**A:** 小学校3年生からクラブチームでやってきました。

**Q:** 今後の目標は?

**A:** 九州の予選に勝って、鹿児島県選抜で国体に出場したいです。その後は、甲南で

花園に出場です。

**Q:** 将来、ワールドカップに出場したいですか?

**A:** すごく遠い夢ですが、はい。



**ホポイ タイオネ氏**  
(Director - moda management)

今回のオール鹿児島高校選抜パース遠征のコーディネーターで、遠征団とウェスタンフォースとの橋渡しもされた。

**Q:** オール鹿児島の選手たちを見ると、自分が日本に行かれた時のことを思い出しませんか?

**A:** 最初に日本に行った時は本当に言葉が分からなくて苦労しました。みんなが何を言っているか分からなかった。自分のことを馬鹿にしているかと思いましたよ (笑)。日本語が少しずつできる

ようになってから、ラグビーを始めて…。でも最初、日本のラグビーはトンガで楽しみながらやっていたラグビーとは全然違って、驚きました。試合の前のウォーミングアップで、疲れちゃうんだから (笑)。

**Q:** 日本に行ったそもそものきっかけは、珠算の国費留学生でしたよね?

**A:** 指が大きくて、苦労した。足し算はいけど、引き算は苦手で。指が引っかかっちゃうからね (笑)。

**Q:** ホポイさんのように、今回のオール鹿児島の選手の中から海外でプレーする選手が生まれるといいですね?

**A:** オール鹿児島の選手たちにとって、こ

こパースでの経験はとてもいいものになると思いますよ。これからが楽しみです。

**Hopoi Taione**

トンガ王国から国費留学生として、当初は珠算を学ぶため大東文化大学に留学。同大学ラグビー部にも籍を置き、日本における留学生のラグビー選手の草の根的存在。日本ラグビーの発展にも貢献し、外国人日本代表選手のパイオニアともなった。日本代表3キャップ。大学卒業後は、三洋電機に入社し、日本に10年滞在、今はシドニーに在住。現在、ラグビー関連のコーディネーターやスポーツマネージメントの仕事もこなしながら、モデル事務所を経営。

